

授業科目	観光フランス語				単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21324J	
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP5-2			
担当教員	麻生 恵美							
授業概要	フランス語圏へ旅行した際に必要なツーリズム・フランス語を学ぶことを目標とします。フランス語の初級文法、語彙、表現などを学習し「使えるフランス語」を身につけ、コミュニケーション力を高めると同時に、フランスの豊かな文化的背景について理解を深めます。リスニングをしたり、エクササイズを用いて短い文章を作ったり、文化的トピックを取り上げながら、場面を想定してペアで会話練習を行います。授業では、学んだことをペア会話やアクティビティといったみなさん同士の実践を中心に進んでいきます。「使う楽しさ」を味わいながらフランス語の基礎を身につけ、フランス語の世界に親しみましょう。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フランスでの添乗業務を遂行する場で必要とされる基本的なフランス語が理解できる。 2. 「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」というフランス語の運用能力をバランスよく身につけることができている。 3. フランスの文化・習慣・社会的知識についての基本的な知識を習得している。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	20	0	20	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	40	20	0	20	20	0	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
フランス語圏における観光名所やカフェやマルシェといった実用的な場面で、自分の言葉で会話を展開し、相手とコミュニケーションをとることができる。フランスの基本情報を理解し、説明できる。				簡単な日常会話をすることができ、自分の意思を必要最低限伝えられる。ゆっくりであれば相手の話していることを理解できる。フランスの基本情報を理解している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション, あいさつ, パリの建築物, アルファベ			グループワーク (GW)		復習: 音源を活用し該当部分を理解する		30

2	自己紹介1, 綴り字と発音1, 数字, フランス語の看板	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
3	自己紹介2, 綴り字と発音2	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
4	「パン屋で買い物をする1」(パンの名前, 冠詞)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
5	「パン屋で買い物をする2」(ユーロ, 買い物の会話)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
6	「パリを観光する1」(ノートルダム寺院, 国籍・職業を言う)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
7	「パリを観光する2」(年齢・持ち物を言う)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
8	「好きなものごとについて話す1」(凱旋門とエッフェル塔, 動詞)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
9	「好きなものごとについて話す2」(趣味の語彙, 疑問文)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
10	「マルシェで買い物する1」(パリの地下鉄, マルシェとスーパー)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
11	「マルシェで買い物する2」(飲食物の名前, マルシェの会話)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
12	「美術館で感想を言う1」(パリの美術館, 形容詞)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
13	「美術館で感想を言う2」(別れの挨拶, 曜日, 月)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
14	「レストランで食事をする1」(食事の流れ, メニュー)	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
15	「レストランで食事をする2」(注文する, テーブルマナー), まとめ	GW	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	フランス語 1, 2 を履修し終わっていると、より理解が深まりやすいです。			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・有富智世ほか「なびふらんせ1ーパリをめぐるー」(朝日出版社, 2016年, 2,500円+税) ・プリント配布 			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	フランス語学習サポート教材{web なびふらんせ, http://navifr.fj.tokoha-u.ac.jp/wnf/ }			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	語学は積み重ねが一番の近道なので、遅刻と欠席をしないように心がけてください。フランス語ができれば旅行の経験がより豊かなものになることは間違いありません。楽しみながらフランス語の知識を増やしていきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(口頭・筆記), 小テスト, 提出物の内容については授業中にお知らせします。			